

河作の批評

角川源兵衛

冬うらり吾子は何でも楽器に才

良尾

柳下良尾君はこのとこつ吾子俳句に教し

てぬよ。栗人や日々雄もひと頃吾子俳句に教

しとみた。面白いのので、三人三様た。良雄

君は俳句をつくるべく、一寸外出。結婚以前の

のつくりが、思はず是か延びて、歸りの録に